

令和元年(4年目)の 取り組み実践中です! 各事業部門が連携する 訪問活動を行います。

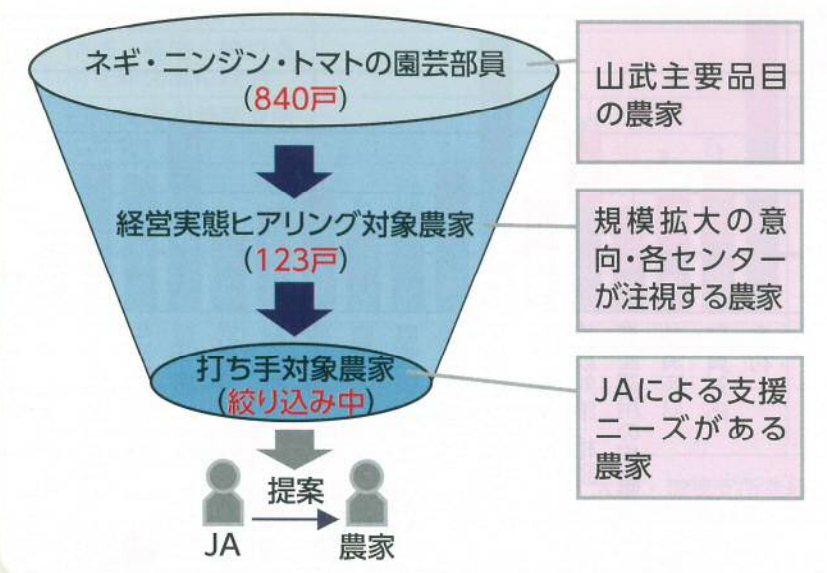


「農業振興計画2016」は第8次中期経営計画と連動し、4年目の活動を実践中です。①作付調査、②ヒアリング実施、③打ち手対象農家の決定、④農家台帳システムを活用した経営シミュレーションによる提案(図①)といった基軸は変更ありません。提案内容は規模拡大、新規品目の他、現状の経営に関する改善点も視野に入れ、JAレベルで検討してから、訪問し、提案します。本年の打ち手対象農家は絞り込み中ですが、前年の打ち手採択農家への継続支援に加え、営農・経済センター、支援内容によって総合支所と連携した取り組みを実践しています。



▲実践中の課題を2カ月ごとに検討する実践会議

図① 令和元年の農家訪問・提案活動



訪問活動はヒアリングで農家の意向を聞き取り、対象農家ごとにJAからの将来像を伝えます。組合員、JAが同じ目線(目標)で農業を考え、JAがその目標に向かって農業経営をいろいろな角度から支援する活動です。



▲営農部門と金融部門の担当者(右3人)がそろって生産者宅を訪問。JAからの将来像を提案します



(方針会議)

本年は主要品目の農家840戸に作付調査を依頼し、123戸の農家に対してヒアリングを実施。この結果から本年の打ち手対象農家(支援対象農家候補)が決まります。各営農・経済センター単位でリストアップし、支所を含む各事業部門担当者が集まって、最適なアプローチ方針を検討しています。

▲JA管内を4ブロックに分けて検討しています(5月28~29日)

打ち手(対応策) → 2年目へのステップアップ

田んぼの学校 (職員対応力 向上研修)

昨年の修了生は「畑の学校」へステップアップ!



本年の生徒は経済センターの窓口担当の女性職員も参加し、7人。実習田で実践的な研修を受けています。(写真左: 田植え後の補植作業を体験)

昨年の「田んぼの学校」修了生は「畑の学校(トウモロコシ編)」へステップアップし、研修を重ねています。(写真右: 播種後にトンネル被覆用の竹ひご挿し)



農業塾(ネギ栽培編)

本年は実習圃場を設置!



農業塾(ネギ栽培編)には本年も35人が参加・受講しています。本年は新たに実習圃場を設置し、JA職員が講師役を務め、関係機関の協力を得ながら、学びやすい環境を整えました。本年はすでに2回の講座が修了し、新規に組みの意向を示す参加者も出ています。また昨年、新規に作付けを開始した生産者への巡回訪問・指導も継続して行っております。